

小学校長会会長賞

堺市立 赤坂台小学校 六年

中 村 理 乃

だれもが住みやすい社会へ

私のお父さんの会社は、住宅金物の輸入をしている会社です。そんなお父さんの会社が、大阪刑務所や障がい者作業所にお仕事ををお願いしているということを知りました。

その話を聞いて、私は自分とあまり関わりのなかった大阪刑務所や障がい者作業所とお父さんがつながっていると知り、とてもおどろきました。お父さんの話によると、地域にこうけんしたいと、刑務所や障がい者作業所にお仕事をお願いしているそうです。興味を持った私は、お父さんにくわしく聞いてみました。

刑務所では、まじめに一生活けん命に仕事をしている人たちがたくさんいるとのことでした。私は想像していたのとちがっていたので、とてもおどろきました。想像していたのは、すこしこわいイメージがあり、刑務所にいる人たちを悪く思う自分がいました。そんな人たちをさげようとする自分もいました。

けれど、人は一度のあやまちをおかしても気持ちの持ちようです。変わりが、立ち直ることができると思うのです。同じように、障がい者作業所でも、ハンデを背おいながら一生活けん命に働いている

人たちがいます。

そうやって、刑務所の人や、障がいをもつ人だけが努力するだけではなく、その人たちが住みやすい社会づくりをすることが、私たちにできる一つのことだと思っています。

なので、自分にできることを考え、興味を持ち、一つ一つの意図を理解していくことが大切で、自分にできる最低限のことを探してやっていきたいと思いました。例えば、自分の知っていることを人に伝えて知ってもらうことや、刑務所・障がい者作業所のことについて学ぶ機会を増やして、自分の視野をひろげることです。大切なことは、人から学んだ情報で、自分の考えが深まっていくことだと思っています。

一度のあやまちをおかしても、立ち直ろうという気持ちが良いことにつながっていくこと、努力すれば立ち直れるということを学びました。私は、今回色々な人から話を聞いて学び、いろいろな人のことについても知ることができ、社会のことについても興味をもつことができ、自分にとって、とてもいい機会となりました。

た。

今回学んだことをそのままにするのではなく、自分の視野を広げるために、利用できる時には、利用していきたいと思います。

そして自分だけではなく、人にも伝えて、もっと自分の考えを分かってもらい、みんなで取りくめたら、良いと思います。

「学んで伝える」ということが社会をよりよくするために大切なことです。これからも私にできることを、積極的に取りくんでいきたいと思います。

